

100年後、日本の人口は5000万。今日の4割以下

少子化と人口減少が加速。昨年は出生数が明治32年に統計を取り始めて初めて90万人を下回りました。

日本の人口は50年後には3分の2以下の8000万人、100年後には5000万人になり、国力は急速に衰退します。

- ・出生率(1.42)は、世界で184位
- ・男性の生涯未婚が激増、4人に1人
(45年前は50人に1人だった)
- ・経済縮小、税収減少で国力失速
- ・2033年、3戸に1戸が空き家
- ・2055年、4人に1人が75歳以上

(参照:「未来の年表」 河合雅司著)

「結婚しない。子どもを生まない」
は、暮らしにくさの証明。

出生率低下の理由は、①非正規雇用等による低収入、②育児休暇取りにくい職場環境(男性の取得率は6%)、③女性は産後復職してもキャリアアップできない、④待機児童が解消しない、⑤子育ての経済的負担大きい、など。

かつて民主党政権が子ども手当を実現させた際、自民党は「バラマキだ」と言って猛反発!

人間を大切に作る社会に!
フランスは出生率を向上させた。

フランスの出生率向上策は、①手厚い家族手当の支給、②子育て家庭への優遇税制、③多様な保育サービス、④35時間労働制など。

政治の危機意識欠如

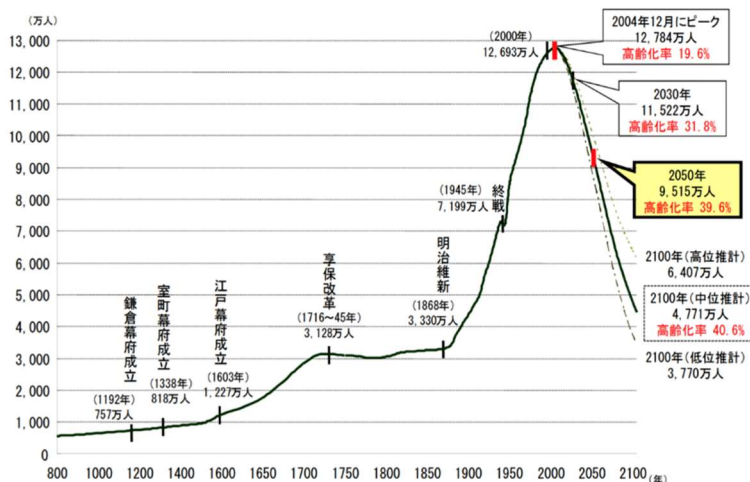
抜本的な改革の断行急務。

経済優先の自民党政権、縄張り意識の強い官僚政治の下では抜本的な変革は困難です。

われわれ国民自身も意識変革が必要です。

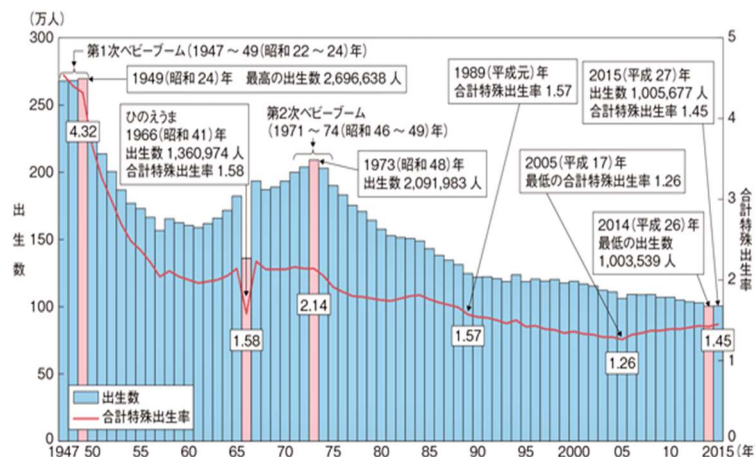
- ① 即効性がある経済的支援の充実
- ② 女性の就労と家庭の両立を図る
- ③ 社会で子育て環境を確立する

日本の人口推移



加速度的がついた人口減少。日本経済や財政、社会に多大なダメージを与える。

少子化の状況



出産対象年齢の女性の減少、生涯未婚者の増加で子供の数は減少の一途。

梶原やすひろの

ホームページをぜひお訪ね下さい。

- 内容
- ・わが町、わが村、美しいふるさと
 - ・梶原やすひろの考え
 - ・おばあちゃんのための政治講座
 - ・You チューブ
 - ・まんが国会
 - ・その他



篠山事務所 丹波篠山市西岡屋甲 570-2

TEL079-552-7107 FAX079-554-1700

三田連絡所 三田市相生町 21-12

TEL/FAX 079-509-0033